

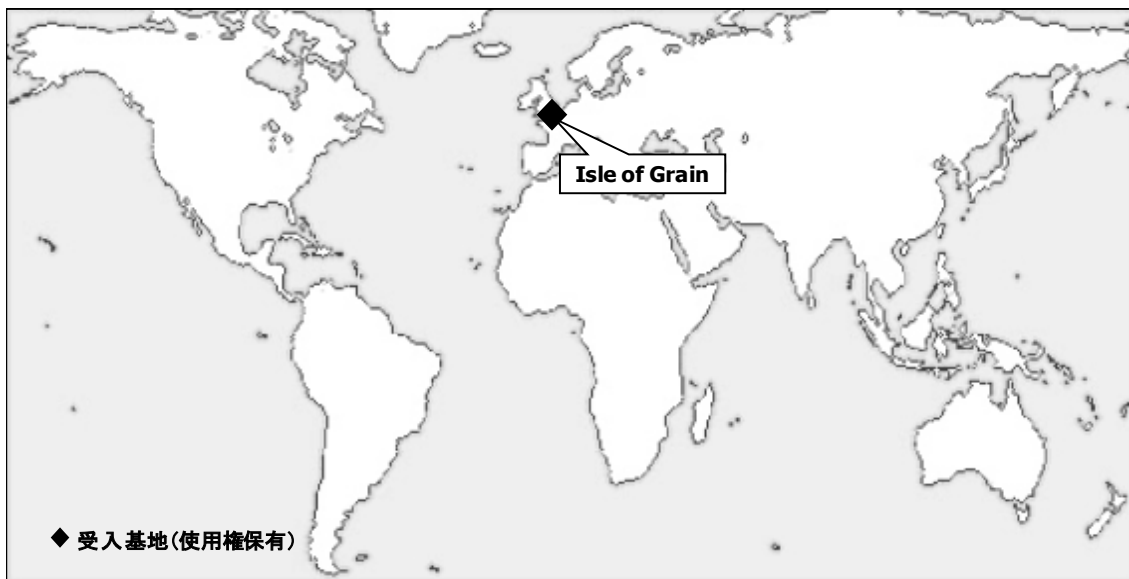
28. Centrica

(1) 企業概要

Centrica は、1997 年に旧 British Gas の小売部門が分社化されて設立した持株企業である。Centrica グループは、ガス事業や電力事業に加え、家庭用の防犯サービスや機器メンテナンスサービス等を提供する「Centrica Consumer」、同じくガス事業や電力事業に加え、エネルギー分野のマーケティング事業やトレーディング事業を行う「Centrica Business」、欧州で石油・ガス開発事業を行う「Exploration & Production」の 3 つの事業領域から構成されており、現在イギリスにおいて最大手のエネルギー・ユーティリティ企業となっている。

「Exploration & Production」事業を担う Spirit Energy と Centrica Storage の 2019 年の石油・ガス生産量は、前年比 10%減の 5,230 万 boe となっている。

Centrica の LNG 受入基地図



(2) LNG 関連

Centrica は、Isle of Grain LNG 受入基地 (Phase 2、Phase 3) のキャパシティー使用権を保有しており、Phase 2 では、2008 年から 20 年間にわたり年間約 250 万トン、Phase 3 では、2010 年から 19 年間にわたり年間約 176 万トンのキャパシティーを使用できる。

LNG 調達面においては、2013 年 3 月、Cheniere との間で Sabine Pass LNG の第 5 液化系列から年間 175 万トンを 2018 年から 20 年間 (10 年間の延長オプションつき) 購入する旨の長期 LNG 売買契約を締結した。また、Centrica は東京ガスと予てより緊密な関係を築いており、2016 年 11 月には、大西洋とアジア太平洋市場間のロケーション・スワップを含む相互協力に関する協定を締結している。その中で、2019 年 2 月に東京ガスと共同で、

IV. 主要企業別 LNG 事業動向

Mozambique LNG から 2020 年代半ばから最長 20 年まで、年間 260 万トンの条件で長期 LNG 売買契約を結んでいる。なお、日本企業と欧州企業による LNG の共同調達、世界初の取り組みであり、アフリカ大陸からの LNG を長期的に購入することで、調達先の多様化を推進する他、アジアと欧州を結ぶ LNG ネットワークを構築することで、LNG 市場の活性化に寄与するものと捉えられている。

Centrica は、調達した LNG を自社で利用するだけでなく、トレーディング事業として他社への販売も行っている。2017 年 2 月には、ジャマイカ向け LNG 供給について、米 New Fortress Energy と 3 年契約に合意した。しかし、2020 年 7 月に New Fortress Energy は Centrica へ対して 2020 年の契約満了までの残期間の LNG を購入する義務を 1 億 500 万ドルの支払いと引換えに終了する契約締結を発表した。

また 2017 年 11 月には、ポーランド PGNiG 向けに米 Sabine Pass LNG からの LNG を 2018 年から 2023 年までの 5 年間に、最大 9 カargo/年の供給を行う契約を結んでいる。

Centrica の LNG 契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万トン/年)	受渡条件
カタール	Qatargas 4 (Train 7)	2019-2023年 (5年)	200	DES
アメリカ	Sabine Pass LNG (Train 5)	2018-2038年 (20年+OP10年)	175	FOB
限定せず	JERAポートフォリオ	2019-2024年 (5年)	50 (最大6カargo)	DES
モザンビーク	Mozambique LNG	2020年代半ば～ 最長20年	260	DES (TGとの共同調達)

Centrica がキャパシティ使用権を保有する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
イギリス	Isle of Grain <expansion, Phase 2>	National Grid	650	2008年
	<expansion, Phase 3>		500	2010年

(3) 今後の戦略

2019 年 7 月、Centrica は 2020 年末までに石油・ガス開発・生産事業から撤退する意向を発表した。社会的な脱炭素化の流れを受け、持続可能なエネルギーを求める顧客ニーズに応えるべく、中核事業である小売ビジネスに注力することになる。この方針に伴って、イギリスやノルウェー、オランダ、デンマーク沖等で石油・ガス開発を行う Spirit Energy の 69%の株式を売却する予定である。また、2020 年 7 月、北米にてエネルギー供給・サービス・トレーディング事業を行う Direct Energy を NRG Energy へ売却することを発表した。事業のスリム化を行うことでエネルギーサービス・ソリューション企業への転換を図っている。